

令和7年度 東京都立久留米西高等学校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・定期考査や小テスト、ワークにより、基礎的な知識の定着を目指す。 ・プレゼンテーションや創作、学習用タブレットを活用した意見共有等を通して、活発な言語活動を取り入れる。 ・進路に合わせたきめ細かい小論文指導を行う。	・対話的な活動をととして文章内容や国語的諸課題に関する認識を深め、考察できる授業を実施する。 ・ビブリオバトルを校内実施し表現活動の充実を推進する。また、代表者を選出し東京都予選大会に出場する。 ・図書館を利用した読書活動の推進をする。
社会	確実な基礎学力の定着	・定期考査や小テスト、ワークにより、基礎的な知識の定着を目指す ・一つ一つの語句に対し、身近な事例を用いてわかりやすく説明する。 ・画像等の資料を活用し、生徒の興味関心を高める。	・教員の話一辺倒に終わるのではなく、生徒同士で話し合わせ、互いに理解を深められるようにしていく。 ・生徒の学力にあわせ、プリントや口頭での補足説明、多面的・多角的な見方を養える発問、場合によっては補習を行う。
数学	数学的思考力・判断力の定着	・定期考査や小テストにおいて、基礎的な知識の定着状況を判断。 ・課題や提出物、授業中の発言等で数学への意欲、興味、関心を養わせる。 ・定期的に補習等を開催し、基礎知識の取りこぼしを防ぐ。（ボトムアップを図る）	・レベルアップ講習などの発展的講習を開催し、上位層の学力を伸ばす。 ・授業内で分野別に切り分けるのではなく、他分野とリンクしている部分を考えさせ、体系的な学習を促す。
理科	科学的な思考力の育成	・実験・観察を通して、科学的に考察する力を養う。 ・対話的な学びを取り入れる。 ・定期考査や小テスト、ワークにより、基礎的な知識の定着を目指す。	・問いに対して仮説をたて、研究方法を考えるなど、探究的な研究の手法を身に付けさせる。 ・大学入試問題の分析。
保健体育	健康の保持増進のための知識の習得および実践力の育成と体力の向上	・健康意識を高め、生涯に渡って健康に過ごせる知識を身に付けさせる。 ・運動の技能や知識を高める。 ・自らの健康・安全を確保できるようにする態度の育成。 ・個人差を踏まえ体力の向上を図る。	・発表活動や、振り返り活動を通して、教科書のテーマをより発展させる。 ・運動のもつ特性や魅力に深く触れる。 ・ルールやマナーを大切に、公正に取り組む意識を高める。 ・グループ活動を通して合意形成を図る。 ・心と体を一体としてとらえ、心身の調和的発達を図る。
芸術	自己を表現する力の育成	・作品制作・演奏活動を通して自己表現する力を育成する。 ・グループワーク等、他者と協働的に作品制作・演奏活動を行うことで、主体的・対話的で深い学びを実現させる。	・芸術作品に対して、その作品の特徴や魅力を感じ取り、根拠をもって文章で表すことができるようにする。 ・芸術作品の自己や社会にとっての意味や価値を見出し、作品の文化的・歴史的背景を理解する。
英語	プレゼンテーション力の育成	・論理・表現で基本的な表現を定着させ、英語コミュニケーションを中心にアウトプットの経験を積ませる ・各科目で小テストの実施。 ・英語コミュニケーションにてALTの力をかりつつ、発表の練習をする。	・論理・表現で学んだ基礎的な表現を基礎に自由英作文を書かせる練習をさせ、英検などの試験のエッセイで高得点を目指す。 ・発表練習してきた経験を、総合型入試等で生かす。 ・ICT機器の活用をする。
家庭科	生活の中の課題発見、課題解決能力の育成	・定期試験、レポート、実習、実験など様々な取り組みを授業に取り入れる。・知識だけでなく生活に取り入れて実践する能力を育てる。	・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、主体的に学習できるようにする。
情報	情報社会を意識し主体的に問題・課題解決に取り組む力の育成	・web教材を活用し主体的に学習する習慣・力を身に付ける実習を実施。 ・身近な問題等を題材とした学習課題による情報発信型実習の実施。	・プログラミングやデータ活用など、専門家から実社会での活用について学習（DXスキルアップ事業コラボ） ・情報と情報技術を活用する力を量る各種検定等へのチャレンジ